

五郷地区

合同運動会

2018. 9. 24(ヨシクマ新聞より)



「スポーツの秋」満喫

鵜殿と五郷で運動会

23日に紀宝町の鵜殿が、24日は熊野市の区合同運動会がそれぞれ、五郷小学校で運動会。五郷小学校で五郷地区、園児や

児童、生徒、地域住民らがスポーツの秋を満喫した。鵜殿小学校では22日の開催予定が雨で延期となり、23日に仕切り直しての開催に。うどの幼稚園の

児童たちも元気に参加。競技は幼稚園児のかけっこからスタートし、徒競走では児童たちが保護者の声援を浴びながらゴール目指して疾走。全校綱引きやダンス、リレーなどに加えて4年生による鵜殿ばやしも披露され、最後は5・6年生から地元老人クラブ五楽会の会員まで、幅広い年代が競技に汗。児童生徒と園児が成長の跡を示した。ほか、全員参加の玉入れや盆踊りなど趣向を凝らした地区合同ならではのプログラムもあり、競技を通じて地域が一体となつて交流を深めていた。



【練習の成果を示した保育園児（五郷）】



【動き回るカゴヘボールを投げ込む児童たち（五郷）】

五郷地区合同運動会は、保育所・小学校・中学校の連携を深めるとともに、保護者・各団体・地域が相互に連携し、青少年の健全育成にむけて親睦を図ることを目的に実施しています。競技種目は幼児から老人会まで全26種目が実施されています。中学生も地域の人に交わりながら、前日までの準備や当日の運営などに取り組んでいます。自分たちの仕事や役割を果たすことによって責任感が育ち、また小学生を指導したり、保育園児に目を配るなど、個々に「将来の地域の担い手」としての自覚も生まれてきています。地区の方々にも子どもたちの成長を感じていただく、大きなイベントとなっています。